

緑の風 NEWS

JR東労組



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2023年3月8日 No.122

鉄道営業収入 2023年2月

対前年同月比 **160.5%**対2018年度 **88.4%**

好調

2023年2月の鉄道営業収入が対前年同月比160.5%、対2018年度88.4%と発表されました。この順調な回復は、赤字コロナ禍から職場で奮闘し続ける組合員・社員の成果です！

●23春闘 第2回交渉の論点

-23春闘要求に満額回答するべきだ!

組合の主な主張

全国旅行支援で、1月10日から3月末まで全国で観光需要喚起が行われている。インバウンドは2022年の訪日者数は380万人だったが、今年に入ってたった1ヶ月で150万人となっている。



**通期の
見通しは
明るい!**

経営が目標を立てて、色々な施策を示して我々が施策を担う。

その結果、目標に達していないから賃金が出せないのは納得出来ない。

目標を立てた経営側に責任があるのではないのか。

会社の主な主張

年初の計画では、段階的に徐々に回復していくと絵を描いていたが、夏のコロナ再拡大に引きずられる格好で第3四半期の累計では当初計画を割り込んでいる。

社会の動向を踏まれば明るい材料が見えるものの決して、

**楽観視
出来ない!**



経営が計画を立てたとの認識は一致出来ない。経営責任ではなく、それは社員全体として取り組むものである。

VS

職場の努力により業績が好調となっても「計画より下」と出さない理由を並べるのか!!

満額回答を求めて、組織強化・拡大を職場から実践しよう!